

退職者 NO.113-  
**こだま会報**



# 退職者こだま会 第32回定期総会特集



総会後の懇親会を終えて記念写真

### 今号の紙面

- ・総会報告 …… ①～④  
 第32回定期総会報告／植木代表挨拶／来賓挨拶／経過・決算・監査報告／方針／総会発言・答弁／物故者名
- ・懇親会で交流 …… ⑤
- ・会員紹介  
 「杉原克典さん」 …… ⑥
- ・せいかつ短信／  
 絵手紙 …… ⑦～⑫
- ・県職員九条の会10周年  
 「平和の集い」 …… ⑬
- ・ポーランドの旅／  
 手作り文化祭案内／  
 予告 …… ⑭⑮
- ・こだま俳壇／薬膳料理  
 教室 …… ⑯

## 神奈川県職労連退職者こだま会が第32回定期総会(6/25)

いちばん大事なのは平和

神奈川県職労連退職者こだま会は6月25日(土)、JR本郷台駅前にある「あーすぶらざ」で第32回定期総会を開催。運動方針を決め、今年度の運動を元氣よくスタートさせました

午前10時、副代表幹事の仲戸川実さんの司会で開会。5月15日現在の会員総数1

288人、出席会員46人、委任状494人で総

会の成立(会員総数の3分の

1)を確認。続いて、この間に

亡くなられた23人の会員に黙とうをささげまし

た。議長に小林節子さんを選出し、

議事に入りました。

開会にあたって植木真理子代表幹事はまず、こだま会の「長寿祝い制度」の該当者(4月1日現在

77歳・50人)に記念品を贈呈したことを報告し、総会に参加されて

いる該当者を紹介しました。

また、「こだま会は、一人ひとりが長生きして喜ばれる社会をつ



新方針を認めてスタート

くりたいと運動している」「一番大事にしているのは平和」「いろんな人と交流を深め、力を合わせていこう」と呼びかけました。

来賓の神奈川県職労連や横浜市

従退職者会から連帯の挨拶をいただき、神奈川県職労連や横浜

さんが争議報告、県高年齢運動連絡会や全労済神奈川県本部

からは連帯のメッセージが寄せられました。

続いて、第1号議案「2015年度経過報告及同決算報告」、「同監査報告」、

第2号議案「2016年度活動方針案」、第3号議案

「2016年度予算案」が提案され、討議。参加者か

らは、戦争法反対のとりくみや、かながわ共同会での不当解

雇事件、鎌倉市職労支援等の発言が続き、議案を補強しました。各

議案は、それぞれ大きな拍手で承認されました。

総会後は2階の「レストラン・メルヘン」で懇親会を開催。各テ

ブルでは、軽食をとりながら再会と健康を喜び合い、交流を深めま

した。(2面に続く)

### 植木眞理子代表幹事の挨拶 (要旨)



代表幹事の  
植木眞理子さん

歳を取ったら、「お疲れさま。もっと長く生きてね」と言われる状況が少なくなっている。こだま会は、高齢者一人ひとりが長生きして、喜ばれる社会をつくっていききたいと活動している。

「もっと長く生きてね」といわれる社会を

この1年間、日本はどうか。安倍首相は7月の参議院選挙で「憲法は争点ではない」と争点隠しをしたの道に行くのか、それが、若者やママたちが立ち上がっている。いまが

この1年間、「趣味の会」や「イベント」などで会員のつながりを大切にしていきたい。高齢期運動や平和・脱原発・社会保障の充実を求めるとりくみを進めよう。



「長寿祝い」者の皆さんを囲んで(前列左から2人目が飯塚武弘さん、3人目が本山文子さん、4人目が三石勝也さん)

### 来賓あいさつ(要旨)



連帯の輪を広げて  
神奈川県職労連委員長  
神田敏史さん

県職員の賃金・労働条件は県労連としてたたかっている。そのなかで来年から、政令市の神教組は市当局と交渉することになるなど、新しいたたかいは始まる。

神奈川ファイル争議では、こだま会の皆さんに多大なご尽力をいただき感謝している。今春、勝利和解を勝ち取ることができた。

引き続き、諸先輩が築いてきた賃金・労働条件の前進や様々な格差の



異常な政治を終わらせよう  
横浜市従退職者副会長  
矢後保次さん

是正、立憲主義を守るたたかいなど、連帯の輪を広げ、運動を進展させた

異常気象が続いているが、日本の政治も異常だ。アベノミクスや消費税増税、TPP、原発再稼働、沖縄新基地建設、年金削減等々。麻生元総理の高齢者に対するひどい発言。「90歳になって老後が心配だなんて、いくつまで生きるつもりだ」など、とても許せない。

悪いことを一つや二つやると内閣は倒れるが、安倍総理は10もやっ

### 神奈川ファイル争議報告



ご支援ありがとうございました  
「勝利和解」しました  
争議をたたかった  
杉本 正さん

4月8日、まる4年かかって神奈川ファイル争議は「勝利和解」で解決した。中労委で行政訴訟が続くと、さらに3〜4年かかることになり、和解が検討された。その結果、解雇の撤回、解決金の支払い、和解後退職という内容になった。

勝って職場に戻ることは大事だが、不当解雇による経済的損失を回復する解決金を支払わせることができた。

この間、こだま会のみなさんには裁判傍聴や宣伝行動、支援コンサートなどに実働部隊としてご奮闘いただき、心からお礼申し上げます。

これからも神奈川ファイル分会の皆さんと力をあわせ、神奈川ファイルをよくする運動を続けていきたい。



勝利和解した  
杉本正さん(左)と  
布施木憲次さん(右)

### 各議案の提案

●2015年度経過報告(鳥居事務局長)



鳥居 伸太郎 さん  
(事務局長)  
文化レク活動  
文化レク企画  
「てく・テクの  
会」の「高尾の

桜保存林見学ツアー」、「浜岡原発見学バスツアー」、「真鶴半島の花と歴史散歩」を実施。趣味の会は、それぞれの会が継続的に活動しているが、世話人の確保などが課題である。

神奈川自治労連退職者会主催の「手作り文化祭」には実行委員を送り、演芸、カラオケ、俳句、絵画、絵手紙、写真などに参加し、交流を深めた。

高齢期運動や平和とくらし、福祉・医療、民主主義を守る運動では、各種集会、県職員九条の会のとりにくみ等に参加。

神奈川フィル争議の「杉本さん・布施木さんの解雇を撤回させる署名」や宣伝・裁判傍聴などに参加。4月8日、勝利和解した。

福利厚生では人間ドックの拡充を図った。「長寿祝い制度」の2015年度該当者は119人で、お祝いのギフトカードを贈り、総会後の懇親会に招待した。

●2015年度決算報告(鳥居事務局長)

一般会計の「収入」では、年会費会員が70人を見込んだが、29人にとどまった。終身会員は16人が加入。

「支出」では、終身会費収入分を積立金会計に繰り出した。積立金会計の「収入」は一般会計からの繰入金と預金利息。「支出」は予算と同じ額を執行した。

●2015年度会計監査報告(岩柳監査)



岩柳 良雄 さん  
(監査)  
帳簿等はしつ  
かり管理され、  
適正に執行され  
ていた。経費削  
減の努力も認め

られる。

●2016年度活動方針(友井副代表幹事)



友井 眞言 さん  
(副代表幹事)  
「戦争法」をは  
じめ沖縄新基地  
建設問題、原発  
再稼働、T P P

批准、消費税増税、熊本地震等々、国民生活に直結する問題が多発した。戦争法を廃止する2000万署名運動や、参議院選挙一人区(32区)での野党共闘の実現等、運動は大きく発展した。

昨年9月、安倍首相は新3本の矢を発表した。しかし、労働者の実質賃金のマイナス、家計消費の大幅な落ち込み等で、「アベノミクス」の失敗は明白だ。下がり続ける年金や

遠のく医療等、社会保障の改悪も進んでいる。1974年以来、知事部局の条例定数が24人増となった。条例定数が増えたとはいえ、実人員の配置は、黒岩知事が重点とする政策スタッフに厚く、現場には厳しい状況が続いている。

こだま会の活動の基本として、保健・医療・福祉・年金制度の充実や消費税増税反対、T P P批准反対、脱原発などの国民的な課題では、学習会や署名運動などを全国の仲間と一緒に進める。「神奈川県職員九条の会」等と連携し、憲法9条擁護・平和をめざす運動を進める。

「文化レク活動」や「趣味の会」を充実させ、仲間づくりを進める。福利厚生では、共済・保険・人間ドック・健康チェック等の充実を図る。会員拡大では、きめ細かく対応する。高齢者が生きいきと生活ができるよう、交流の場と仲間づくりを進める。

●2016年度予算案(酒井幹事)



酒井 道生 さん  
(幹事)  
「収入」は昨  
年度の実績をふ  
まえて予算化し  
た。積立金から

の繰入金は、長寿祝い等の対象者50人分にかかる約17万円を見込み、他の経費負担を考慮し、25万円とした。「支出」は、長寿祝い制度の経過措

置が終了することなど、前年度の72%で組んだ。繰出金について、終身会費は単年度で扱う性格ではないので、いったん終身会費収入分を積立金会計に繰出すこととして40万円とした。予備費は県職労連規定(3(4面に続く))

### 謹んでご冥福をお祈り申し上げます (年齢は享年)

阿部 将 様 85歳	桜井 繁 様 94歳	長田 松子 様 74歳
飯島 敏夫 様 74歳	藤 佐 喜 様 79歳	古川 一夫 様 85歳
石塚 幸雄 様 81歳	佐藤 治 様 78歳	別府 シズエ 様 88歳
石原 実 様 87歳	鈴木 敏夫 様 87歳	町井 綾子 様 83歳
今村 幸美 様 81歳	鈴木 勲 様 81歳	山崎 加代 様 76歳
海老原 文江 様 80歳	鈴木 芳男 様 83歳	山下 英朋 様 88歳
尾形 卓 様 90歳	千野 鋼 様 78歳	山本 亮 様 83歳
小池 善一郎 様 89歳	永井 信雄 様 80歳	

\*2015年6月から2016年5月までに事務局のご連絡のあった方で、それ以前に亡くなられたも含みます。

(3面より続く)  
 (7%)を準用し約4%とした。  
 〈積立金特別会計〉

「収入」は、一般会計からの繰り入れを終身会費予算額と同額とし、利息を含め40万1000円とした。

「支出」は一般会計に繰出した長寿祝い金(等)を含めて25万円とした。

### 参加者の発言・意見



鈴木三郎さん

戦争法に反対して  
 いこう

戦争法の廃止を  
 求めて6月5日、  
 国会へ行った。「戦

争をしてはいけない」という市民連合の山口先生の報告はそのとおりだ。昭和20年5月、当時私はY校の3年生。戦闘機をつくっていた。横浜空襲で、米軍機が焼夷弾を落とす、横浜は焼野原になった。近所に同級生が住んでいた。彼の母と妹は焼死んだ。翌日彼は、「軍手を貸してくれ」といつて我が家に来た。焼き死んだ母と妹を引き取りに行きたいという。6月は直接、爆弾攻撃を受けた。防空壕に行こうと思ったが、満杯で押し出された。工場に残った人はばらばらになった。百数十人が即死した。そんな社会にしてはならない。私はあと4年余で90歳。くやしいからあと10年は生きる。みんな

も頑張つて、戦争法に反対していこう。



飛田俊明さん

広げよう鎌倉市職  
 労への支援

鎌倉市職労への  
 異常な攻撃が続い  
 ている。第1に、

労使合意した賃金・労働条件問題の議会・市当局による一方的な廃棄問題。第2に、組合事務所追い出し問題。事務所は6月に移転したが、それまでの事務所使用料の損害賠償問題がある。第3に、組合費チェックオフ廃止問題。組合費チェックオフは長い間労使協議で実施されてきたが、一方的にひっくり返される状況だ(以後、これは従前通りに実施されることになった)。

これらは一部の市議会議員と市当局によるものだが、こうした状況を許せば、県下自治体のみならず、全国に波及する。支援の輪を広げよう。



湯川勉さん

「歴史教室」の存続  
 と岩元さんの職場  
 復帰支援を

「歴史教室」は、  
 こだま会で歴史あ  
 るサークルだ。現在18人の会員が  
 いる。運営は佐藤喜治さんと私とで準備してきたが、佐藤さんが昨年12月に亡くなられた。今後、私一人で進

めることは困難なので、解散を前提に会員のみなさんに提案したが、過半数の賛同は得られなかった。幸い運営を手伝っていただけの人々が現れた。10月に総会を開いて、今後の「歴史教室」を前向きに考えていきたい。

愛名やまゆり園(かながわ共同会が経営)の岩元さんが事故で障害を負うなかで不当解雇され、復帰を求めて裁判をたたかっている。かつて愛名やまゆり園は県福祉部の出先であり、組合も強かった。心配しているOBもたくさんいる。障害者の復職を拒むかながわ共同会の体質は許せない。こだま会に支援の協力を訴えたい。



並木まり子さん

住みやすい自治体  
 づくりへ

これまで病院職  
 場で医療を守る運  
 動を続けてきた。

昨年は「戦争法」の採決で大変な事態になった。このままだと、「看護婦を増やせどころではなくなる」「戦争法の廃止を叫んでいかねば」と思い、3月に、湯河原町議員選挙に立候補した。かつて従軍看護婦がたくさん戦地にいき亡くなったことや、自決した人の話などをすると、多くの人が涙して聞いてくれた。結果、3位で当選した。

これからは、高い健康保険料の引

き下げや、素晴らしい海や山を守るなど、住みやすい自治体づくりに全力をあげたい。

### 発言・質問への回答

●全体的に：4人から熱のこもった発言に敬意を表し、運動に反映させていきたい。

●「戦争法」の廃止運動：2000万署名などを進めてきた。会員の競争体験を伝える運動も充実させていきたい。

●「趣味の会」のとりくみ：「歴史教室」や「こだま旬会」「料理教室」等が奮闘しているが、世話人の確保などが課題になっている。趣味の会がもっと広がるよう援助していきたい。

●岩元さん(かながわ共同会) 職場復帰のたたかについて：愛名やまゆり園(社会福祉法人かながわ共同会が運営)の岩元さんは交通事故に巻き込まれ、障害を負って休職している間に2014年7月に退職扱いにされた。

岩元さんは復職を求めて同年11月、横浜地裁に提訴。当会として「かながわ共同会の障害者差別を許さず岩元さんの職場復帰をめざす会」に団体加入して応援してきた。「会」は「：職場にもどす会」に名称変更された。

(5面に続く)

# みんな若いナ!

## 「来年もまた来るよ」

## 懇親会でたのしく交流

(4面より続く)  
引き続き署名や裁判傍聴などで支援したい。

●鎌倉市職労への労働基本権侵害と組合つぶしについて：賃金・労働条件の労使合意を反故にする問題や組合事務所移転問題、組合費チェック

オフ廃止問題(以後従前通りで解決)で、一部の市議や当局から異常な攻撃が加えられ、鎌倉市職労は広範な団体と「鎌倉市政を市民と働く仲間

に取り戻す会」をつくり、運動を展開している。当会としては、「会」への加入や裁判傍聴などを引き続き強めていきたい。



定期総会後は、あーすぶらぎ内のレストラン「メルヘン」で懇親会を開催。「長寿祝い」対象者を招待し、交流を深めました。  
「楽しい総会だった。来年も必ず来るよ」総会と懇親会は、毎回楽しみにしているのに、総会出欠葉書が入って



いなかった」の声も。ごめんなさいね。来年は気を付けます(事務局)。  
「あつという間に77歳になったが、年をとった気がしないよ」「みんな若いね」「地域で花を植えたり、清掃のボランティアをしている」「ポーランドを旅してきた。花の季節で天気はよく、物価も安い。アウシュビッツも訪ねた」など、軽食をとりながら2時間近く、なごやかに懇親会は続きました(写真撮影は友井眞言さん)。



# You are my sunshine



-48-

## ロンドン・パリ 14日間の旅

# ギター片手に一人旅

ロンドン・パリ  
14日間の旅。

今回もギターのおかげでまた楽しい出会いがあった。

EU離脱是非国民投票日の前日(6/22)、ロンドン・ヒースロー空港から、いつもの行き当たりバッタリの一人旅が始まった。

### 「公園ライブ」で踊り始める親子

ウィンブルドンテニス観戦、温泉の町バスで湯に浸かり、ナショナルギャラリーでゴッホに再会等…。なかでも「公園ライブ」は忘れられない。たった一

人、公園のベンチでギターを弾きながら歌うライブ。観客は通行人。足を止める人は無に近い。孤独で気楽なライブなのだ。

しかし、この日は違った。朝、ホテル近くのハイド・パークで歌っていた。曲目は「You are my sunshine」。すると、散歩中の親子4人家族が私の前で足を止めた。ニコニコ顔でこちらを見ている。

「あの4人、聞いているゾー！」緊張モードのスイッチがON。私の心は一気にフォークシンガー。すると突然、歌に合わせて若いお母さんが小さな子の手を取り一緒に踊り始めたのだ。リズムカルに楽しそうに、子どもと踊る笑顔のお母さん。その隣で嬉しそうに見ているお父さん

「ワーツ！なんってこった！」私の気分はもう最高潮。次の曲を歌い終わり、お礼の握手をしようと2人の子どもに右手を出すと、その



セーヌ川沿いで青年とジャムセッション



ハイド・パーク「公園ライブ」

子どもの手にはコイン(56ペンス≒約75円)が握られていた。孤独から歓喜へ。これだから「公園ライブ」は止められない。

### セーヌ川沿いで青年と

### ジャムセッション(即興演奏)

その後、ロンドンからパリに移動。モネなど印象派を追っかけて、ウン十年の私。オルセー美術館やパリ郊外のモネの家(ジベルニー)、アルジャントウユなどを巡り、最終日、ギター片手にセーヌ川沿いを歩いていると、遠くから私に手を振る青年がいる。近寄って行くと、ギターを

弾いている。青年の名はCLOOX(クルークス)さん。

ギター弾きは曲の「コード」進行が分かればもうOK。言葉が分からなくてもOK。数分後、私と彼との軽快で心躍るジャムセッションが始まった。目の前の芝に寝転がっていた若い男女は突然の歌に！だ。もちろん、拍手がきた。ギターを

続けてきて良かった。自分で自分をほめてやろう。ただ、残念なのは彼とほとんど英会話が出来なかったこと。私のNHKラジオ講座基礎英語2(中2レベル)では話にならない。いま、64歳、まだまだ諦めるには早すぎる。新たな出会いを求め、これからもギター片手に「変人」の一人旅は続く。

### おまけ 私の見た小さな発見

- ▽小雨では傘をささない。▽鉄道キップ券売機は紙幣が使えない。▽トイレにウォシュレットがない。▽地下鉄車内でオーディオオン演奏が始まる。▽エレベーター表示が日本の1階はパリで0階。▽スマホで自撮りしながらお化粧する若い女性。▽空港、鉄道主要駅に自由に弾けるピアノがある。▽街には、兵士が巡回警備している。

(2016年7月17日・記)



杉原 克典さん

定期総会への出欠はがきに寄せられた「せいかつ短信」をお届けします。掲載者は122人。「こだま会」への要望をはじめ、元気でお勤めの方やボランティアに励む方、ゆったりと生活を楽しむ方など、本当に喜ばしい限りです。地域での高齢期運動や「九条の会」等で活躍の方、闘病中の方も見られます。紙面の都合で「幹事の皆様、ご苦勞様」などの趣旨は割愛させて頂きました。また文意を損ねない範囲で、一部省略させて頂きました。(順不同・敬称略)



- 新倉仙太郎(三浦) こだま会の「歴史教室」では、昨年の佐藤善治さんの急逝は本当に残念です。半年経ってもまだ、佐藤さんの心温まるご指導、ご案内の面影が浮かんで来て大変お世話になった事を思い出します。こだま会の大損失です。ご冥福を祈る。合掌。
- 鳥居千珠子(東京都大田区) いろいろ大詰めの情勢ですね。田園調布九条の会で忙しくしています。国会行動や駅頭・全戸配布の署名活動で1500筆を超える署名を集めています。
- 澤田逸夫(横浜) 神奈川地区労連やかながわ区九条の会、人権擁護委員、竹山連合自治会等々忙しい日々が続いています。
- 齋藤孝治(横須賀) 相変わらず元気にやっています。週3回くらい菜園の作業をしています。今年初めてメロンとスイカにトライしました。野球、カラオケ、旅行などで忙しい毎日を過ごしています。
- 小林節子(横浜) 今年は少し時間がとれるといいのですが、ハイキング、料理教室などにいきたいです。
- 川井弘次(厚木) 7月20日に満82歳になります。生きざまのまとめ中です。No.1〜16、約2千頁を、①組合、②仕事・職場、③地域活動にまとめ中。①の組合がやっとまとめ
- りそう。②③はいつになるか。
- 小川達子(横浜) 相変わらず元気で、趣味教室やボランティアで、毎日のように出掛けて過ごしています。
- 湯川 勉(二宮町) 昨年、「長寿祝い」をいただき、私の活動は一区切りになったと思います。余生も少なくなりましたので、自分のしたいことをと思っています。
- 大貫多喜子(横浜) 午後会議があるので、午前中の総会のみ出席します。
- 小松繁子(横浜) 最後の母との別れから1年がたつてしまいました。パーキンソン病をもちながら、家の事、ボランティア活動、文学、歴史、体操教室等、常に一生懸命やっていたすてきな女性でした。まだ、心に大きな空洞がいた状態です。何とか自らの健康を保ちながら生活しています。
- 手代木昭八(横須賀) 今年5月、生まれて初めての入院を経験しました。大腸癌検査を受診したら、ポリープ(直径2cm未満が2個)がみつかり、切除手術をしました。今は元気で普通の生活を送っています。何時も『こだま会報』等が届くのを心待ちにしています。ありがとうございます。
- 木村武子(横浜) 昨年5月、自宅で転び大腿骨骨折、大腿骨置換の手術、その原因となった左膝の関節の置換の手術を今年2月にしました。ゆっくり杖を突いて歩けます。遠出の楽しみが少なくなりましたが、皆さんに助けられて吟行、俳句の会などを楽しんでいます。ホームでは囲碁のサークルを立ち上げ、70〜80代の仲間を教えています。心広く、豊かにして過ごす気持ちを大事にしています。
- 橋川順一(平塚) 退職して30年、寝転んで読書しています。おすすめの本、米原万里著の『打ちのめされるようなすこい本』。文芸春秋社発売。10年前のため図書館にはあると思います。『会報』編集の方々に感謝しております。
- 小山田洋志(秦野) このたびは「長寿祝い」をいただき、ありがとうございます。毎回の『こだま会報』を楽しく拝見しております。光陰矢のごとし。八十路を迎え、何より健康第一に体調をもっていきたいと思っています。
- 富田幸子(小田原) 参議院選挙も間近にせまり、平和で戦争のない世界を望みます。
- 内藤光夫(横浜) 八十路を過ぎ、健康保持のため、ストレッチ体操教室等に参加しています。
- 植木政光(秦野) ものづくり家

として活動し、6月、東京都美術館での美術展、長野にある豊科近代美術館のLAC美術展に出品します。秋には関内で作品を展示します。フーフーリーこだま会。

鹿郷真弘(小田原) 妻の体調がくずれ、しばらく介護に専念しています。日々の健康を充分考え、自然食品を多くとるよう努力しています。毎日美味しい料理をつくれるようになりました。

斉田茂子(横浜) お知らせ等、ありがとうございます。

雨宮和雄(海老名) 特別、生活に変化はないけど、体調が思わしくないのので総会は欠席します。

奥津弘久(秦野) 『こだま会会報』をいつも楽しみにしています。元氣いっぱいです。相変わらず作品作りは夫婦で一生懸命でやっています。今ではお互いに教えあいながら、師となったり弟子となったりしています。

後藤洋子(三浦) 元氣です。

吉谷英子(相模原) 『会報』、いつもありがとうございます。おかげさまで元氣で居ります。皆さまの御健康をお祈り申し上げます。

片野憲二(小田原) 組合役員として50年経過しました。この秋ひとつの区切りとするつもりです。今月(6月)は妻の一周忌と新たな命、同居する次男夫婦出産予定、3人目

の孫です。家事や学童、保育園への迎え等忙しい毎日を送っています。ボランティアの原水爆禁止運動も、被爆者が訴える署名が始まりました。世界大会に向け忙しくなります。

島田多嘉子(横浜) 予定が重なってしまったので、残念ですが総会は欠席させていただきます。



堀口和子(横浜) これからの暮しをどうするかをいま、思案中です。

中原保彦(島根県邑智郡美郷町)

島根県の山奥の町(足柄上郡の中井町を除く4町の面積に約5000人の人口)にUターンして7年半経ちました。水田20アール、そば・小麦40アール、薬草、野菜類などの農作業と98歳になった母の介護が主な

生活です。日本ミツバチも3群飼育しています。昨年までコメ作りの機械作業をお願いしてきた方が急逝され、「74歳の手習い」で圃場づくり、田植え、除草などの作業に挑戦しています。「2000万署名」は「9条の会」で町民の5%を目指し奮闘中です。自治労・町職と合わせて町民の一割にしたいです。

桜井哲雄(平塚) 昭和4年生れ。年令相応にほどほど問題を抱えながらも「土いじり」を楽しみながら過しています。

秦 正喜(海老名) 県を退職して26年。再就職を退職して22年になりました。庭いじりなどで過ごしていますが、時折「ゆめくらぶ」などの行事にも参加しています。なお地域の認可保育園、学童保育の評議員もやっています。

渡辺雄之介(平塚) 今年の2月、後期高齢者になりました。平塚市生きがい事業団での除草の仕事と、市民マラソンへの参加で体力を維持しています。疲れ易く、物忘れが多など老化現象には勝てません。

分銅良直(横浜) 囲碁とウォーキングを趣味にして暮らしています。

阿部 豊(相模原) 大学の市民向け講座に行くことや、家庭菜園づくりがメイン。県職労県央支部の手伝いで厚木合庁へも週1回行ってい

ます。知らない顔も増えてきていますが、顔なじみもまだまだ健在です。

増村一夫(千葉県武郡大網白里町) 神奈川県フィルハーモニー管弦楽団の解雇撤回勝利和解、おめでとうございます。まる4年の争議を支え続けた役員の皆様に、心から敬意を表します。さて私事ですが、先月の中旬、大腸内視鏡検査でポリープ切除にて1泊2日の入院をしました。癌の疑いもなく、ひと安心です。予防に心掛けていきます。

辻村 博(茅ヶ崎) 戦争法廃止の2000万署名にとりくんでいます。6月2日現在81筆で、8割位が趣味のテニスの仲間からのものです。100人以上をと思っています。

三村義広(千葉県八千代市) やつと再任用満期で出所できました。これからは組合サポート、地元自治会サポートなどで社会貢献したいと考えています。

佐藤榮一(静岡県富士見市) この春、数年ぶりに元の職場の同僚と会う機会がありました。それぞれ頑張っていて嬉しく感じました。元の職場は研究職員数が、私が在職していた最高時の約半数になってしまったこと、KAST(科学技術アカデミー)との統合、独立行政法人への移行などが話題になりました。OBとなった今は直接身に振りかかるこ

とはないにしても、複雑な思いでした。独立行政法人とは何かを改めて考えさせられました。

小宮福太郎(二宮町) ただいま医療施設に入所しています。

高橋精治(秦野) 地域福祉活動、明るい選挙推進委員等で多忙な毎日です。

小出晴美(横浜) 元気で毎日忙しく、地元でボランティアをしています。趣味のフラダンスで、体力低下を防ぎたいのですが、すわりたくないので、お茶のみの回数が多くなっています。「お茶のみバアさん」と言う言葉がありますが、なるほどと納得しています。

柘沢 覚(相模原) 白内障の手術、両眼無事終了、ほっとしていますが、その後の体調管理が大変です。

宮澤恭子(茅ヶ崎) 「9条かながわ大集会in湘南ちがさき」(6月4日)の開催に関わって忙しい日々でした。様々な経歴の方々や、経験の深い方々と一緒に戸惑いもありましたが、一つの目的に共同で事を成しとげることは民主主義の実践でもあると実感したところです。いつもの平和を希求して。

長瀬和雄(横浜) 横浜・神奈川・日本は大丈夫なのでしょう。議員さん、首長さん。  
麓 寿(厚木) 「長寿祝い」を

いただき、ありがとうございます。大原 茂(大和) ますますの御発展を祈ります。

青戸宏文(松田町) 「長寿祝い」、ありがとうございます。

小山直次(相模原) 元気で農作業や地域のボランティア活動で過ごしています。今年も道保川にホテルがとびはじめました。

米持 汎(秦野) 5月に四国88カ所1200キロメートルを無事歩き終えました。この秋は、高鈴山へ結願御礼に参り、そのまま熊野古道を歩こうと計画しています。

梶原忠雄(葉山町) 2年前、神奈川県災害対策課の職員として宮城県気仙沼復興事務所に派遣され、防潮堤建設にかかわってきました。

この4月から、岩手県宮古市役所道路建設課に勤務しています。宮古地区には2度の大きな被害を受けた田老地区があり、早期の復興がまたれています。

山本秀実(長野県飯山市) 郷里の北信州に戻り5年目となりました。「葉の花とおぼろ月夜の里」はいま各地で田植の真盛りです。農業をめぐる状況は大変ですが、共同温泉「湯仲間」の民間退職者の知人も元気で米作りに頑張っています。

大川照雄(藤沢) この3月14日で89歳になりましたが、いろいろな

病気がたたかいたがながらも、なんとか生きています。皆さんも元気で頑張ってください。

塩原國雄(横浜) とくに書くほどのことはありません。元気に過しています。この8月で80歳になります。何だか妙な気分です。

古山忠男(箱根町) なんとか生きています。



森本 豊(相模原) 安本法反対で2月21日、国会前に行ってきました。元気に仕事をしています。

神戸純成(厚木) 現在、病気という病気は高血圧症を除けばありません。いたって健康です。最近流行りの健康マージャンを、ボケ防止のため40年ぶりに始めました。ルール等はほとんど忘れていましたが、同

年輩の人たちとテーブルを囲むと昔が思い出され、なつかしく楽しい時間ができています。健康維持のため家庭菜園のほか毎週土曜日、卓球(2時間程度)で汗を流しています。

登坂克男(秦野) 相変わらず医者通いをしながら、畑作業と盆栽づくりに頑張っています。今日は77歳の長寿祝いの品をいただきました。ありがとうございます。

岡野三重子(川崎) 男の子3人。元気な笑顔をいつまでも見ていられるよう、孫に残したいものは「平和」の二文字。

吉井 進(東京都渋谷区) 病院へは定期的に通っています。趣味は計画だけ。いつ実行するか。こだま会の行事に、前のように参加したいと思っています。

細屋良雄(伊勢原) 家庭菜園と年金者組合のサークル活動で忙しく暮らしています。

石田啓子(横浜) 『会報』で皆様のお元気な様子がわかり、パワーをいただいています。今年の4月で仕事を辞め、これからは自分自身の体のオーバホールです。

荒尾英正(相模原) 年齢相応に元気です。定期的(2〜3カ月毎)に健康診断に通院中。特別変化なしですが、足・腰の衰えるは天命でしょう。

増子忠治(平塚) 老骨に鞭打ち、畑を耕し、土に触れ、収穫の喜びを実感する中で生きる力を養うことを目指しています。

松村美知子(大分県白出町) ふるさとに戻って80歳をむかえました。緑の多い中で何とかすごしています。

稲垣和成(平塚) 今年は輪番の町内自治会役員で忙しく、認知症予防になっています。

菅野健児(厚木) 元気で週4日、ダンスを楽しんでいます。

川田勝利(横浜) 『こだま会報』を楽しみに読んでいます。時に「会員紹介」「こだま俳壇」がいいですね。いやされません。

川村キサ(横浜) 『こだま会報』楽しみにしています。

鈴木公彦(横須賀) こだま会には何時もお世話になっていきます。浜岡原発見学旅行、実に参考になり、また楽しい旅行でした。原発の恐ろしさを改めて感じました。

鶴田賀陽子(横浜) おかげさまで無事過しています。加齢ごとに身体障害が加わり不自由ですが、残存機能で趣味も転換し出会いを楽しみに人生を楽しんでいます。

滝口敏昭(福岡県筑紫郡珂珂川町) 最近はお心境に変化があったのか、近くに見える山々、木々の緑や花の

色が以前より美しく感じられます。病との付き合いはとも薄いので、この方はいつまでも疎遠でいたいものと思っています。

田中和子(秦野) 最近足腰が弱くなり、外出もままなりません。人間も90年近く生きてると当然のことです。何とか東京オリピック



まで生きていたいと思いますが、思惑どおりにはいきません。まああの体調を保ちながら、平常心で暮らせることが最高の幸せと思うこの頃です。

並木まり子(湯河原町) 私は3月13日投票で行われた湯河原町の町議会選挙に第3位で当選することができ、只今議員として忙しい毎日

です。こだま会の皆さんに多大なる応援をいただきありがとうございます。戦争法はなんとしても廃止にしましょう。平和な日本を子どもたちにつなぎたいです。

原 秀夫(伊勢原) 総会よろしくお願いします。

石原健二(東京都目黒区) 体調不良のため、家にいることが多くなっています。それでも夕食後、家内と散歩を兼ねてスーパーのセール品を買って帰宅する今日この頃です。

阿部毅正(横浜) 元気に仕事、地域活動に振り回されています。

小島信明(座間) 会員の皆様、今年も元気で活躍下さい。私も楽しく元氣を出して過ごしたいと思っています。

家城レイ子(小田原) 視力が落ちて、だんだん見えなくなってきました。一人歩きは無理です。

戸田晴美(川崎) 今年の春も2人とも体調を崩しながら、なんとか乗り越えました。入会より亡くなる方の多いのが気になります。先日「料理教室」の亀井貞子様が26年ぶりに来宅され、久しぶりにお話し出来ました。皆様お元氣で。

七宮 清(厚木) 私は相変らずユニセフや老人ホームでボランティアを行っています。加齢とともに活動もにぶくなりつつあります

山田経行(横須賀) 野鳥観察と囲碁を楽しんでいます。

太田 顕(相模原) 体調不良のため、相模メーデーに参加できず残念。来年こそ体調を整え参加したい。地元中学校が平和学習の一環として行っている相模湖ダム追悼会に10年間参加、出演となる。

横井 博(厚木) 日本の新しい明日を、共同で切り開いていきましよう。

小越信子(横浜) 元気で楽しくすごしたいと思います。

田中春江(海老名) 『会報』、ありがとうございます。楽しく読ませていただいています。この5月、後期高齢者の仲間入り通知を受け、忘れていた年齢を自覚することになりました。この先も明るく元氣で、いろんな事に関心を持って過したいと思っています。災害に合われた方々、お見舞い申し上げます。

加藤幸男(相模原) 生方武羅夫 こだま会元代表幹事とは、入庁が同期でした。

三宅杏子(厚木) 『こだま会報』112号の「真鶴半島花と歴史散歩」にある「縦書きの詩文」というキブシの花の一群をみてみたいです。

村崎亮一(横浜) 最近孫も上が中学生となり、家庭教師をしています。

小林平治(藤沢) あと3カ月で喜寿を迎えます。最近歩行が遅くなり、体力増進のため、現職時代に行っていた水泳をしに、近くに出来たスポーツジムに通い始めました。

小山武衛士(厚木) 80の坂を超えて思うことは、憲法を無視する首相はもう見たくないとということ。これからどうなるでしょうか。

札木 繁(茅ヶ崎) おかげさまで毎日元気に過しています。これも皆様のご支援のたまものと感謝しています。皆様のご健康とお幸せをお祈りします。

岡田 繁(二宮町) 催しの会場は相模川以西を望みます。会員各位のご健康を願っています。

清水敬一(横浜) 85歳のハードルを越え、宿病の緑内障が進行中。全盲も間近か? さあて、未知の世界がいかなるものか、意気軒昂ワクワクしています。

吉田綾子(逗子) 想定外に肺炎(重症化)で入院し、体重10kg減(全部筋肉)で歩く事もままならず、1カ月のリハビリで回復しました。当分出歩きは控えめにと家族の弁。皆々様も油断なされずに。

佐藤 肇(厚木) 本年米寿を迎えて、寿詞の書状いただきました。子ども、孫、ひ孫計4族16人で米寿の祝いをホテルでしてくれました。

健康のため、週2回グランドゴルフの練習をしています。

玉井アツ(相模原) 早いです。今年77歳になりました。毎日が感謝です。皆さんも体に気を付けて、お互い楽しく生きましょう。

伊東 久(秦野) 小生、小学校2年時、太平洋戦開戦。小学校6年時、敗戦。秦野の畑にも戦闘機の機



銃掃射の流れ玉で、土けむりを何回も経験した。海軍予科練入隊希望のガリガリの軍国少年だった。戦争法は絶体廃止しなくてはなりません。

遠山 淳(千葉県茂原市) 持病と共生しながら愛犬、愛猫の世話をしています。

鈴木良明(静岡県伊東市) 体調不良にて、残念ながら総会を欠席し

ます。

小林文夫(茅ヶ崎) 「寝たきりにならない」「ボケない」をモットーに健康年齢の更新に努めます。

多村洋子(厚木) 永年『会報』をお送りいただき有難うございます。今年8月で85歳になります。皆々様、健康に留意されますよう、お祈り申し上げます。

田中 譲(福岡県小郡市) 姪から突然の電話。「6月5日(日)の結婚式に親族代表のあいさつをしてほしい」とのこと。あれこれと本を開き、祝い文を作っています。でも久しぶりの祝事で心ウキウキです。

松村久代(厚木) 心疾患の手術後10年経過。近隣のウォーキングで体力維持につとめています。途中休憩が多くなりました。月2回公民館でパステル画と、図書室で本を借りてベッドで横になり、読んでいます。

佐藤 弘(横浜) 今年は今年と思っています。心臓を19年前に患い、かなりよくなっています。81歳でもありますので、総会は欠席します。

鶴見佑久(海老名) 「長寿祝い」、ありがとうございます。昨今、定期的に医者通いをしていますが、週2回、地域の防犯パトロール等に参加するなど元気に過しています。

桂 稔郎(横浜) 大和市の園芸相談員として、月に6〜7日勤務しています。休日には地域の囲碁クラブで楽しんでます。

山崎重夫(横須賀) いよいよ81歳。悪運強く、いつまで世間をさがすことやら。ちなみに親爺は90歳までがんばった勇者です。

平能芳子(横浜) いつも『会報』ありがとうございます。私、春より腰痛で通院中です。

時田道則(南足柄市) ただいま食道がんとたたかいた中で、入院を繰り返しています。勝利して皆さんと逢える日を楽しみにしています。皆々様も油断なされずに。

星野玲子(伊勢原) 「長寿のお祝い」を有難うございます。長い歳月を省み、戦時下、戦後のつらさ、苦しみなどが甦ります。改めて、決して戦争をしない国にしなければならぬと思います。

大津定久(平塚) 退職して早15年。近年、体力、気力、すべておとろえ、身体は病いの宝庫となつてしまいました。『会報』も楽しく読ませて頂いておりましたが、昨今、目を通すことも困難となつてしまいました。会員の皆様のご健勝心よりお祈り申し上げます。

高木みどり(横浜) 合唱で歌っています(6月25日・7月2日の合

# 絵手紙



奥津弘久さんの作品

唱祭に出演)。読んでほしい本は、古川智映子の『性転換』です。性同一性障がい理解への入り口となりました。

小島 工(東京都武蔵野市) 散歩に読書とパソコンで元気に過しています。

永野勝康(厚木) この度、「長寿

祝い」をお送り下さいます。誠にありがとうございます。有効に使わせていただきます。望外のよろこびです。

千島ミツ子(厚木) 「長寿のお祝い」、うれしく受領いたしました。

きなくさい政情にあつて「戦争法」廃止の行動に体力の続く限り参加し

ています。右お礼まで。

月明るき夜を透かしてハモニカ吹く人を殺さず帰還せし父 ミツ子

戸塚 忠(静岡県三島市) 拜啓

夏の近さを思わせるこの頃、ごだま会の皆様方には益々御健勝のこととお慶び申し上げます。さてこの度

は「長寿祝い」を御惠贈下さいます。誠にありがとうございます。謹んで誠にありがとうございます。謹ん

でありがたく頂戴致します。なお、定期総会後の懇親会にお招き頂きましたが、残念ながら所用により欠席

のはがきを投函してしまいましたので、どうか悪しからずお許し下さい。九条の会には僅かばかり送金させて頂

きます。皆様方にはお身体にお気をつけ下さいますよう。まずは御礼まで。 敬具

西原明夫(二宮町) 週3〜4回卓球を通して運動をし、町卓球協会、

体育協会の仕事をしています。野尻 輝(中井町) 御盛会を祈ります。

松本 崇(横浜) 病気で入院中です。

菊田 勲(藤沢) 幹事として加えていただき1年が経ちますが、大

して役立っていないなと思いつつも、自分にとっては懐かしい面々とお会いできた楽しい1年でした。

友井眞言(東京都町田市) ジョギングは継続すること。俳句は新し

い世界が開けています。こだま会では新しい仲間ができ、社会的な問題にも参加しています。家庭菜園は、

キュウリ、ナス、トウモロコシ、南京豆等。孫にすかれてまごまごしています。

鳥居伸太郎(東京都大田区) 地元、田園調布東久自治会(世帯数約800戸、住民約2000人)の町会役員総務部長をしています。日常の防犯パトロールから祭の運営まで多忙です。交代してもらえらる方を捜しています。ごみつかりません。

鳥海敏雄(藤沢) 病気は足からやってくるようです。体力維持のため、リハビリにがんばっています。

岩柳良雄(横浜) なれない介護も3月末で卒業しました。団地の管理組合理事長も5月に解任されたので、あとは趣味に打ち込めるかなあー。

小島八重子(寒川町) 早いものです。退職後5年が経過。パナマ文書、都知事の問題など、1%のおごりの横暴が目立ちます。99%の国民

よ、もっと怒りを。



神奈川県職員九条の会

# 10周年 平和のつどい

＝ 総会 & 講演会 ＝



波止場会館で開かれた総会と講演会

## 共同の力で 9条を守り活かそう



講師の五十嵐仁さん

神奈川県職員九条の会は5月28日、

「10周年平和の集い」を横浜市内にある波止場会館で開きました。

今回は、結成から10年ということと、「県民センターホールでの結成集会」や「品川正治氏の講演」「宗教者の願いと九条講演」「私の戦争体験」「九条祭りへの出店」「浜岡原発見学」など10年間の主なとりくみを報告しました。

当会は、「職場の九条の会」の性格と広域自治体職員の特性から、県内各地域で活動していることが特徴。そこで、「それぞれの会が繋がって九条ネットワークになった」と厚木地域の活動を川瀬秀雄さん、「一人からはじまったスタンディング。今年は九条かながわのつどいの事務局とし



厚木の川瀬秀雄さん



茅ヶ崎の宮沢恭子さん



湘南支部の押野利一さん

て奮闘中」の茅ヶ崎九条の会の活動を宮沢恭子さんから話してもらいました。さらに現役職員の活動として、県職労湘南支部長の押野利一さんから「組合として講演会など平和のとりくみを継続している」話をしてもらいました。

記念講演は、全国各地で憲法を守る運動の「激励役」で活躍されている法政大学名誉教授の五十嵐仁さん、「9条改憲の動きと戦争法廃止運動・参院選の意義」をテーマに語っていただきました。

「オバマ大統領の広島訪問は核兵器廃絶に向かって歴史的と言えるか。これからの彼の言動に現れる」「憲法解釈変更による立法改憲は憲法9条、96条、99条に違反。立憲主義の危機だ」「戦争の反省から憲法を守って復興し、経済大国になった日本。ベトナム戦争、アフガン、イラク介入と紛争を力で解決しようとして失敗したアメリカの後追いをするのか」「安倍首相は改憲で緊急事態条項を入れよ

うとしている。緊急事態の判断を安倍氏がやって好き勝手に法律を作ること許してはいけない」「市民の後押しで野党の共同が進んでいる。参院選は大切だ」など熱のこもった講演でした。

### 〈参加者アンケートより〉

●経過報告や会員の地域での活動について

・10年間ご苦労様でした。  
・OB・OG・現役、それぞれ頑張っていますね。

・3地域(厚木、湘南茅ヶ崎、県職労湘南支部)でのとりくみ、たいしたもの。

・活動の広がりを感じ、良い刺激になりました。

・「浜岡原発見学ツアー」や茅ヶ崎地域で原発問題分科会の報告を聞いて、原発問題を取り上げなければならいと参考になりました。

・茅ヶ崎のスタンディング運動の素晴らしさに感動。厚木でも10団体9条の会の活動など広がりがわかります。現職湘南支部なかなかやるじゃん。

(14面下へ続く)

# 「戦争」と「平和の尊さ」と

## ポーランドの旅

6月13日から20日、神奈川県医労連研修ツアー「ポーランドの旅」があり、こだま会からも4人の会員が参加しました。ワルシャワでは老人福



ワルシャワの老人ホームで職員と



シヨパンの生家

祉施設やシヨパンの生家を見学し、クラクフではアウシュヴィッツ・ビルケナウ収容所などを訪ねました。

\* \* \*

ポーランドは麦畑や果樹園、森など自然が豊かな国でしたが、たどってきた歴史は悲惨でした。特にアウシュヴィッツ・ビルケナウ収容所の見学は、ナチス・ドイツの虐殺の歴史を肌でまざまざと感じ、心が苦しくて言葉につまるほどでした。

ナチスに抵抗するポーランドの政治犯を皮切りに、「反社会的分子」

### 風が吹いていた

風が吹いていた  
6月だというのに  
真夏の陽ざしが降りそそぎ  
緑陰に憩う時  
心地よい風が 吹き抜けていった  
ここはアウシュヴィッツ博物館

広大な敷地の鉄条網に囲まれた中に  
赤褐色のレンガ造りの建物が整然と  
並び  
訪れる人は多いのに  
建物からは全く  
生気が感じられない

やユダヤ人など、150万人余が連行され、うち110万人が殺されていったこと、その殺りく方法などがあまりにも恐ろしく、ショックングでした。日本も、2度と戦争への道をたどってはならないと思いました。同行した新田泰子さんが、「アウシュヴィッツで殺されていた人々のことを思うと書き残しておかすにはいられない」と、詩に託して下さいました。紹介します。

(中嶋ひとみ)

思わず戦慄が走る

「ARBEIT MACHT FREI」  
(働けば自由になれる)  
ガイドブックで見た  
そのゲートを潜る時  
これから先の緊張の時間に耐えられるのか  
思わず白いバラの花を一輪 手にしていた  
ガイドの後から4号棟5号棟とついで巡る

列車から降りた

(15面上へ続く)

(13面より続く)

●五十嵐仁先生の講演について

・パワーにあふれた話で力づけられました。ユーモアとだじゃれの炸裂路線いいですね。平和をめぐる情勢がよくわかり、参院選挙を前にしてタイムリーな講演だったと思います。

・「イガジン節」は2度目。社会事象を分かりやすく話され、私たちが周りの人に話す参考になります。「パートタイムの社会運動」というのは良い。  
・今何をすべきか、自分自身が…とても分かりやすい楽しい話でした。元気に飛び出しましょう。

・オバマ大統領の広島訪問と意義、ドイツのワイゼッカー大統領のアウシュヴィッツ訪問と謝罪に比較し、我が国政府代表が戦後71年を経過しても、南京大虐殺や韓国の慰安婦に謝罪をせずにいる問題の指摘に同感です。

●今後の会のとりのくみや希望

・憲法学者から「立憲主義について」のテーマで話を聞きたい。  
・学習会だけでなく平和のフィールドワークもやってください。  
・現役職員への広報と勧誘を。  
・基地見学ツアーで日米安保の現状を学びたい。

・現職の方が参加しやすいとりくみができると思います。映画会はとっかかりとして良いのではないかと思います。  
・若い世代の役員を確保すること。

予告!! 予告!! 予告!!

●歴史教室 (総会)

とき 10月4日(火)13時~15時
ところ 県庁本庁舎6階共用会議室
議題 「歴史教室」の今後について
\*直接、会場においでください。
\*会員以外の方も歓迎。
(どちらも申込不要)
連絡先 こだま会事務所045(212)3179
または湯川 勉 0463(72)4766

●俳句サークル「こだま句会」

月例句会 (毎月第2木曜日13時~)
9月8日/10月13日
ところ 県庁本庁舎6階共用会議室(予定)
指導 太田土男先生(俳人協会)
会費 800円
申込先 こだま会事務所045(212)3179

●楽しい料理教室

とき 9月25日(日)11:00~15:00
ところ フォーラム南太田(京浜急行「南太田」駅前:横浜市男女共同参画センター横浜南)
内容 旬の野菜、相模湾でとれたばかりの魚を使った料理
講師 飯塚武弘会員
会費 2000円
申込先 仲戸川実まで 080-3001-8174
またはこだま会事務局(火曜日のみ) TEL 045-212-3179

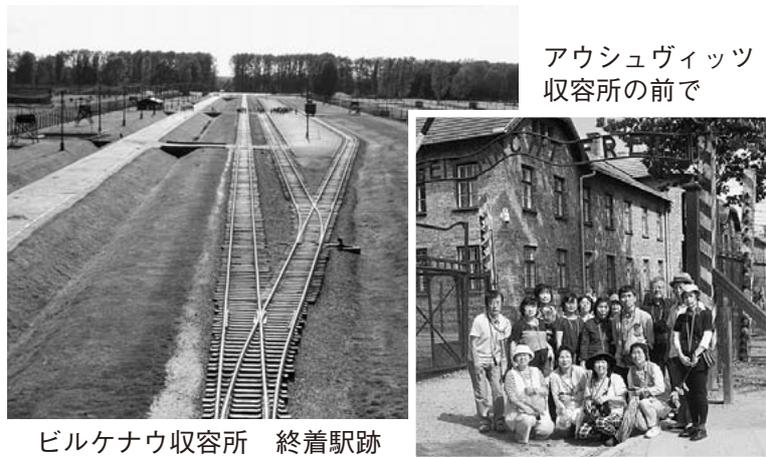
●食文化を楽しむ会(薬膳料理)

とき 11月中旬
ところ 未定
講師 亀井禎子会員
申込先 こだま会事務所045(212)3179
または亀井禎子 045(332)4601

●こだま会文化レク企画「てく・テク会」

「世界遺産富岡製糸場と宝川温泉バスツアー」
とき 9月28日(水)~29日(木)
集合 横浜駅西口天理ビル前に8時30分(横浜駅西口徒歩5分)
日程 9月28日:横浜駅西口9時出発→富岡製糸場(見学・昼食2時30分)→宝川温泉(泊)
9月29日:宝川温泉10時発→谷川岳ロープウェイ→天神平駅(天神峠散策)→水紀行館(昼食)→横浜駅西口着(17時予定)
参加費 2万5000円(バス・宿泊費・保険等)
申込:連絡先 8月23日(火)16時までに
こだま会事務所045(212)3179
Fax045(212)3178

(14面より続く)
大きなトランクに丸めた毛布を背中に背負っている男性の写真
当座の生活に必要なものを持参したと思われる
その写真からはそれらの荷物が意味をなさないと写っていない
ましてや自分の人生がそこで終焉を迎えるとは
遺品が分類されたガラスケース靴、カバン、櫛、歯ブラシ、コーヒーカップ
そして刈り取られた毛髪
それぞれに山積みされた夥しい遺品の数々
非業の死を受け入れなければならなかった



ビルケナウ収容所 終着駅跡

アウシュヴィッツ 収容所の前で

150万余人の人々の無念さ

レンガ造りの建物を次から次へと入っては出て、出ては入り 気づくと27号棟辺り
敷地のはずれの鉄条網は二重になっており
これ以上近づくなの警告文字と
髑髏の絵が描かれた立看板
日中訪れた数多くの人々が帰路にいった後
広大な暗黒の敷地の中では
毎夜 時空を超えて 嘆き悲しむ
慟哭が聞こえてくるようだ
無念さ 悲しみの心に寄り添い
ただ安らかにと祈るばかり
アウシュヴィッツの中に風が吹いていた
150万余人の声なき声が

縦横無尽に
まるで私達を眺めるように
風が吹いていた

2016.6.17 by y.mitta

手づくり文化祭のご案内

神奈川県自治労連退職者会主催

絵画・写真・絵手紙・陶芸・俳句・短歌・出し物(合唱・フラダンス等々)、気軽にご応募を



とき: 10月29日(土)10時~15時30分
ところ: 横浜市従会館(桜木町下車)
申込締切: 10月18日(火)までに「こだま会」事務所へ(搬入も)
申込先: こだま会事務所 045(212)3179

こだま俳壇(7月)

牛追いの唄や南部に田水沸く

田中 一男

びよんびよんと飛び跳ねている夏帽子

鳥海 敏雄

推敲に飽いて夕焼を歩きけり

友井 眞言

航跡の向うにあるや夏の雲

柳瀬 節子

夕焼けに染まって帰るデイサービス

鈴木志げ子

おい夏雲がゆつくり歩いてく

木村 武子

初産の孫より電話星祭り

中村 桂子

夕焼けの暮れゆく空のしじまかな

島田多嘉子

球児夏手の豆耐えて投げける孫

小川 水草

雨しとど新樹の日本大通り

三井 光子

田水沸き青鷺の群れ遊びけり

後藤 貞夫

まじろみつまたまじろみつま夏の午後

白井保次郎

ビー玉を空に透かせば夏の海

坂 守

夏雲や廃屋トトロの森のごと

松尾佐知子

手術するかしないか夏の夜

横川美代子

アロハ着て僭越ながらポランディア

高橋 和江

八月や戦の極み知る広島

井村 友彦

夕焼に向ってみんな手をつなぐ

太田 土男

食文化を楽しむ会

夏の食欲減退を乗り切る 薬膳料理に挑戦

梅雨空が「カク」と明けた7月28日木曜日、横浜駅から徒歩10分の西地区センター調理室で食文化を楽しむ会「夏ばて予防の薬膳」の料理教室があり9人が参加。おなか一杯、満足の一日でした。指導は亀井禎子さん。

献立は「ちりめんじゃこことみょうがのお寿司」「玉竹液、トマトと卵のスープ」「ローストチキン、焼き茄子、生野菜添え」「党参入り冬瓜と蟹の餡かけ」「金針菜、人参、ひじきの煮物」「西瓜、冬瓜と白木耳のデザート」と多彩。紙面の都合で次のレシピを紹介しします。

◎「ローストチキン、焼き茄子、生野菜添え」の作り方

〔材料〕4人前

鶏もも肉2枚、塩、胡椒、調味液(酒大匙2、砂糖大匙2、オイスターソース大匙2、胡麻油少々)、茄子4本、だし醤油大匙2、オリーブ油大匙4、ガーリックパウダー、レタスカサラダ菜5〜6枚、パセリ少々。

〔作り方〕

- ①鶏もも肉2枚を人数分に切り分け、筋切りして塩、胡椒を擦り込む。
②肉の表面の水気をペーパータオルでよく拭き取り調味液に漬け、冷蔵庫で一晩置く。
③フライパンをよく熱し、オリーブオイルを敷き入れ皮目を下にして焼き目をつけ、ひっくり返して両面をしっかりと焼く。
④茄子は皮とへたを剥いで、もも肉を焼いたフライパンに入れ、蒸すように時々転がして焼き、だし醤油を振



西地区センターにて

多彩な料理ができました

り入れ、ガーリックパウダーをかける。
⑤生野菜を器に敷いて、もも肉と茄子を盛り付ける。
\* \* \*
豪華でボリュームたっぷりの献立でしたが、「ちりめんじゃこことみょうがのお寿司」のさっぱりした組み合わせで、夏場の食欲減退を乗り切れると思われました。
(鳥居伸太郎)

こだま会文化レク企画
「てく・テクの会」東京・谷根千散策
(谷中・根津・千駄木界限)
と き◎12月1日(木)
集 合◎「JR日暮里駅」北口改札10時集合
\*詳細は11月発送のチラシを参照
問合先◎こだま会事務所 045(212)3179 FAX 045(212)3178
毎週火曜日10時~16時

